

しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成29年6月定例会の内容をお届けします。

2017
No. 60

平成29年8月10日発行



特集

看護専門学校
の学生
&
市議会

特集

看護専門学校 の学生 と 市議会

看護師を目指し
看護専門学校に通い
日々実習などに取り組む
皆さんに
お話を伺いました。



人の役に立つ仕事がしたくて

専門の知識を持つ看護師になりたい

島田市立看護専門学校は、看護師の安定的な確保のため平成元年に開校しました。これまでの卒業生は、800人以上となり市立島田市民病院をはじめ県内外の医療機関に就職し活躍しています。現在は122人が在学し、そのうち11人が男子学生です。

今回、看護学校の3年生2人・2年生4人の皆さんにお話をお聞きしました。

《看護師になろうと思ったきっかけは何か。》

・患者さんに一番近い立場で、温かい声掛けをしてくれた看護師さんに出会ったからです。

・介護士も考えましたが、介護士より幅広い医療知識・技術を持っている看護師を志しました。

《島田市立看護学校を選んだ理由は何ですか。》

・島田市出身で島田に残ることができるので。

・男子学生が多かったのも要因の一つです。病院に近い学校だったからです。

《学校生活いかがですか。》
・実習が隣の市民病院でできない科がある



ので、実習先の病院に朝5時台の電車を出掛けないといけないので大変です。

・大学と違って授業や実習が詰まっています、国家試験合格に向けての勉強が大変ですが、看学祭やお弁当の時間は楽しいです。

《先輩後輩の関係はどうですか?》

・男子学生は、人数が少ないので食事会を行って親睦を深め、いろいろな相談に乗ってもらっています。

・実習のときに、同じ時期に学校で過ごした先輩が看護師として病院にいて相談に乗ってもらえるので心強いです。

《島田市に望むことはありますか?》

・私の出身地は交通の便が島田市より良く、高齢者に対して特に充実しているが、島田市はバスの本数が少ないと感じます。学校に通うのも不便です。公共交通機関の充実を望みます。

・図書室の本や実習機材が開校当時のものが多く古いので新しくしてほしいです。
・もっと楽しく食事をしたかったので食堂がほしいです。

《高校生や看護師を目指す人に、島田看護専門学校をPRしてください》

・先生方が丁寧に指導してくださり、親身に相談に乗ってくれます。
・学校全体が一丸となって協力し合い、盛り上げる看学祭などさまざまな学校行事を通して仲間との絆が深まります。

定例会 の 概要

一般会計1億4239万2000円を増額

副市長2人制条例改正など可決

平成29年第2回定例会が、6月8日（木）から7月11日（火）まで、34日間の会期で開催されました。

6月8日（木）本会議初日 正・副議長選挙と常任委員等改選

議員改選後初の議会において正・副議長選挙が行われ、福田正男議長、大石節雄副議長がそれぞれ当選しました。また、各常任委員および議会運営委員を選任しました。

（しまだ議会だより第59号に掲載）

6月15日（木）本会議 17議案上程

繰越明許費や市税条例の一部改正など専決処分報告7件、一般会計・病院事業会計補正予算2件、条例4件、その他4件の計17件の議案が上程されました。

（5ページ）

6月23日（金）～27日（火）一般質問 議員18人が登壇

正・副議長を除く18人全議員が一問一答による一般質問を行いました。

（8～17ページ）

6月28日（水）追加議案3件上程 議員5人が議案質疑登壇

特別会計補正予算1件、条例1件、その他1件の議案が追加上程されました。また、5人の議員が、議案について当局に質問しました。

（5ページ）

6月29日（木）～6月30日（金）常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会が、それぞれ半日ずつ分散開催し、3委員会に合わせて1日半をかけ、付託された議案審査を行いました。

各常任委員会では、本会議に上程された追加議案3件を含む議案20件のうち、報告3件を除く専決処分の承認や補正予算・条例改正など議案17件の議案審査を行いました。（6・7ページ）

7月11日（火）本会議最終日 追加議案上程 45議案可決

3常任委員会での審査内容と結果について各委員長が報告しました。

市長専決処分による報告1件、一般議案1件、人事案件として、副市長・監査委員・教育長・教育委員・公平委員・農業委員・固定資産評価員の27件が追加上程されました。議員1人が登壇し、議案の詳細について市当局に質問しました。

一般議案1件は賛成多数で、ほか議案44件が全議員賛成により可決されました。

（17ページ）

また、議員発議により、二つの特別委員会が設置されました。

（7ページ）

〈議案第36号 平成29年度島田市一般会計補正予算（第1号）〉

Pick up 1 官民連携賑にぎわい創出事業 補助金とは？

Q 事業内容と目的は？

A 北海道テレビが制作している「水曜どうでしょう」の交流イベントが当市で開催される。主催者が行うキャラバンと連携して地元オリジナルイベントを開催することにより、当市を全国に発信するチャンスと考える。

Q イベント会場、集客目標人数は？

A 中央公園のふれあい広場を予定している。集客目標人数は5000人としている。

〈議案第36号 平成29年度島田市一般会計補正予算（第1号）〉

Pick up 2 保育料第2子半額 第3子無償化事業とは？

Q 事業決定の経緯は？

A 実施の可能性について検討をしてきた。市長再選により市民から信任を得たと考え、子育て世代の負担軽減による合計特殊出生率の上昇、定住促進、さらに市外からの子育て世代の転入増加を図ることを目的としている。

Q 所得制限を設けなかった理由と市の負担額は？

A 福祉施策としてではなく、人口減少対策として実施するものである。市の負担額は、平成29年度は1億253万3000円、30年度以降は、1億7787万2000円を一般財源として見込んでいる。

〈議案第40号 しまだ楽習センター条例について〉

Pick up 3 しまだ楽習センター運営を 指定管理者に

Q 指定管理者を導入する理由は？

A 平成27年度に実施した事業仕分けで費用対効果などについて見直しを求める判定を受け、効果的な生涯学習の実施および運営の効率化による経費節減を図りたい。

Q 指定管理者を導入後の減免の内容は？

A 当面は、現在の減免条件を適用する。具体的には、公用での使用は全額免除。社会貢献活動等の場合は月2回まで全額免除。自治会・文化体育団体などが使用する場合は半額免除。

〈議案第47号 島田市副市長定数条例の一部を改正する条例について〉

Pick up 4 副市長2人制に条例改正

Q 副市長を2人にする理由とその職務は？

A 市において大きな事業が具体的に動き出す。詳細で専門的な思考と強力な推進力が必要となる。市長の方針決定や政策判断を補佐する機能を強化し、政策実行の調整等を行う体制の再構築するためである。

Q 副市長の報酬はどれくらいか？

A 一人につき期末手当込みで1200万円、共済費220万円が見込まれる。

常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。6月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

厚生教育常任委員会

保育料第2子半額

第3子無償化へ！

平成29年度

一般会計補正予算

●小規模多機能施設整備事業

Q どのような施設か。

A 全体の定員は29人で、必要に応じて宿泊、短期入所ができる。1カ月当たりの介護保険の自己負担が定額となっており、本人負担としては包括的な料金で使いやすいサービスになっている。

●保育料の第2子半額

第3子無償化に伴う補正予算

Q ふじの国少子化突破戦略

応援事業とは何か。

A 県民の2人から3人の子どもを持ちたいという希望をかなえるための効果的な事業を行う市町に県が助成を行うというものが実施期間については3年間を予定、当市の事業に

経済建設常任委員会

パラグライダー事業

集客なるか

平成29年度

一般会計補正予算

●官民連携賑わい創出事業補助金

Q テレビイベントの経済波及効果はどうか。

A 日曜日であることと中心市街地のおび通りのイベントと合わせれば相乗効果は期待できる。島田市の知名度も上がる。

●観光イベント事業等補助金

Q パラグライダー支援事業

の費用500万円の内訳と利用見込み数はどうか。

A 資格者の報酬320万円、資材80万円、イベント費100万円である。8月から3月まで毎月30人程度の利用者を見込んでいる。一回のフライト料金は1万2000円の予定。

島田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

Q 補償内容が実質下がっているのではないか。

A 給与法の改正でそうになっている。なお、市が福祉共済の掛金を全額負担するなど、手当を上乗せして対応している。



パラグライダー飛行地点からの眺め

副市長が二人に

特別委員会を設置しました

平成29年6月定例会最終日の7月11日に「議会改革に関する特別委員会」と「政策条例制定に関する特別委員会」の2つの特別委員会を設置することが決まりました。

島田市税条例の一部を改正する条例

Q 軽自動車のグリーン化特例の実績は。

A 対象車両2311台で税収は1577万400円である。特例によって875万8000円減額となっている。

島田市副市長定数条例の一部を改正する条例

Q 給与と退職金は。

A 給与は約1200万円。退職金は1025万2800円である。財源については、人件費全体で調整し、必要に応じて11月定例会に補正予算を提出する。

平成29年度一般会計補正予算

● 地方債に関する調査

AQ 合併特例債の現状と今後は、限度額196億円の内、70億4800万円利用。償還額は32億7800万円。利子が5億8700万円である。今後は、新東名島田金谷IC周辺プロジェクトや、光インターネットの整備等へ起債を予定している。



2人体制になった副市長

AQ 二人の副市長の仕事の分担は

規則でそれぞれの事務分担を決めていきたい。また、重要案件については、2人に対応することも想定される。

議会改革に関する特別委員会

島田市議会では、議会運営のあり方についてさまざまな角度から調査・研究を行い、課題解決の提言がされ、実行もされてきました。今後、これまで出された提言や課題等についてさらなる検討を行い、議会基本条例の趣旨に基づき議会の機能強化等を進めていきます。

特別委員会

【委員長】 伊藤 孝
【副委員長】 藤本 善男
【委員】 大村 泰史
河村 晴夫
村田千鶴子
桜井 洋子
大石 節雄
山本 孝夫
清水 唯史

政策条例制定に関する特別委員会

地方分権の進展により地方公共団体の自主的な決定と責任の範囲が拡大する中、多様化・複雑化する市民のニーズを的確に捉え、市政に反映するために、議会自らが政策提言や条例の提案を行うことができるよう、政策立案機能の充実・強化に向けて調査・研究を行います。

【委員長】 八木 伸雄
【副委員長】 曾根 嘉明
【委員】 大関 衣世
横田川真人
杉野 直樹
齊藤 和人
横山 香理
佐野 義晴
森 伸一
平松 吉祝

※「議会だより編集に関する特別委員会」は編集後記をご覧ください。

市長に質す^{ただ}！

一般質問



市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。

島田市議会6月定例会では、正・副議長を除く18議員が個人質問を実施しました。全議員が一問一答方式（議員が一つの質問をし、市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、50分間の制限時間の中で質疑を行いました。今号では、18議員の個人質問の内容の一部を紹介します。興味を持った質問はありますか？

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。録画映像はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることができます。

このQRコードからどうぞ！



大丈夫か老後の安心確保

Q 特別養護老人ホームの待機状況とこれからを伺う。

A 待機者は、昨年1月1日現在で27人。平成30年4月に新たに70床の施設が開設され、それにより待機者問題は解消される。

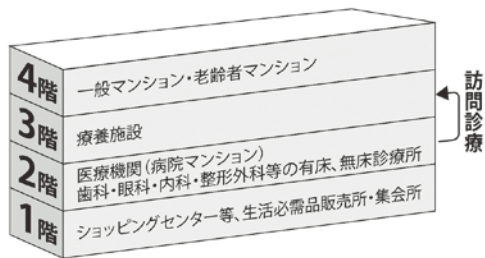
Q 老後の安心確保に向けて、リバースモーゲージ制度（持家等を担保に、老後資金の融資を受けける返済不要の高齢者向け逆担保融資・生前受けた融資の返済義務はない）がある。制度活用に向けた所見を伺う。

A 大変有意義な制度である。個人のゆとりもさることながら市としても生活保護費の削減につながる。活用に向けて広報に努める。なお、制度の取扱窓口は島田市社会福祉協議会。

Q 新市民病院が完成すると医療系の療養型医療施設が無くなる。そればかりか、これまでも近隣市にある介護系の療養医療施設が本市には無い。そうした中、国は医療・介護系、

いずれの療養施設も廃止を決めた。その代わり新たな介護医療院を創設する計画を発表した。この機会を好機と捉え、新市民病院の周辺に島田型の介護医療院の誘致はできないか。

A 公共用地に対して民間法人等から、そこを活用して進出の申し出があった場合、可能性について一緒に検討、さらに調整をする。



私がイメージする島田型介護医療院



さの よしはる 議員
佐野義晴 議員

糖質制限を健康増進の一つの方法に



よこたがひまさと 横田川真人 議員

Q 新たな取り組みとして、糖質制限を取り入れてみては。

A 効果があるという話は聞く。一方で医者から止められたという話も聞いた。

Q 糖尿病患者がインスリン無しの状態まで回復した事例がある。私も試してみて適正体重になった。スポーツのパフォーマンスも上がった。

A 糖分をとらないと筋肉が分解してアミノ酸になってしまうので取った方がいいという認識である。

Q 人間が動く燃料としてグリコーゲンとケトン体がある。糖質が無くても脂や肉を食べていけば大丈夫である。

A 全く取らないのは良くないと考えている。

Q 全く取らないとは言っていない。糖尿病末期の方が糖をとるのはおかしい。予備軍は気を付けた方がいい。健康な方では普段より少し抑えるだけで良い。それぞれのやり方がある。



糖質を抑えたチョコレート

A 糖尿病でも糖は必要だと考えている。

Q 完全に否定しないで可能性は残しておいてほしい。

A 市としては糖質も必要と考えている。一歩踏み出すにはまだ根拠が足りないと感じている。

Q 島田市が先進事例になってほしい。

A アンテナは高くして情報をつかむ努力をしていく。

中小企業振興条例にも勤労者目線を



ふじもとよしお 藤本善男 議員

Q 市内事業者、従業者の推移は。過去5年で事業者数6.4%、従業者数6.1%の減少である。

Q 最近の有効求人倍率はどうか。本年4月に1.25倍と雇用は改善されたが雇用確保は厳しい。

Q 地元で就職を希望する学生の現状はどうか。

A 売り手市場で大手企業を目指すため、地方に人が回ってこないという企業の悩みを聞いている。

Q 企業価値は規模だけではないことを学校は教育できているか。

A キャリア教育の中で地元企業の大切さは理解されていると思う。

Q 地域産業を支えるための中小企業・小規模企業振興基本条例制定に向けたスケジュールは。

A 7月頃から意見聴取を行い来年の2月定例会へ提出予定である。条例制定に教育機関や働く人の目線を入れるべきと思うが。

A 各種団体から意見を聞き、条例の中身を検討する予定である。

循環型社会の取り組みは

Q 市の再生可能エネルギー比率は。再生可能エネルギーの発電比率は約37%である。

Q バイオマス発電や水力発電は民間会社への依存度が高い。市は今後さらに比率を高めるとのことだが、取り組みはどうするか。

A 再生可能エネルギー率を高めるとともに、消費電力を下げるよう取り組んでいきたい。

島田市の新エネルギー・再生可能エネルギーの発電割合
※発電割合=新エネルギー等年間発電量/年間消費電力量

No.	発電方式	年間発電量	発電割合
1	太陽光発電	3,443万kwh	3.61%
2	小水力発電	5,054万kwh	5.29%
3	バイオマス発電	26,652万kwh	27.93%
4	メタンガス発電	65万kwh	0.07%
合 計		35,214万kwh	36.90%

島田市における年間消費電力量 = 95,413万kwh
 ①電灯種別(一般電灯・店舗・他) = 20,943万kwh
 ②電力種別(事務所・商店・工場・他) = 62,168万kwh
 ③自家発電を自家使用した電力量 = 12,302万kwh
 ①②資料:中部電力(株)島田営業所

再生可能エネルギー発電割合 (H27年)

観光行政で

島田市を元気にしよう！



ひらまつよし のり
平松吉祝 議員

Q 観光の原点は「地域の文化」である。文化・スポーツ・観光が

一体となった観光振興に取り組むことのプロセスが島田市を元気にすると考える。「島田市観光振興条例」を制定し全市で観光行政を推進すべきではないか。

A 条例の制定は考えていない。

Q 「大祭」や「前夜祭」には多くの課題がある。どう取り組むか。

A 大祭は、観光客目線の新しい工夫を加えながら、次回開催に向けて準備を進めていく。前夜祭は、110回記念（次々回）の年に行う方法もあると考える。

Q 蓬萊橋・川越遺跡・蓮台越し・諏訪原城跡・東光寺の「猿舞」・「鹿島踊り」・川根温泉・大井川

鐵道SL・牧之原大茶園・大井川マラソン・グラウンドゴルフなどさまざまな点在する観光資源を線にして島田市を元気にする考えは。

A その一つ一つの拠点を結び組みづくりが課題である。

島田球場に電光掲示板を

Q 全国大会を行う球場として、島田球場に電光掲示板の設置をすべきであるがいかがか。

A 利用に対する費用対効果や財源の調達等の課題を踏まえ、総合的に検証していく。

Q 外野の両翼5メートル、センター2メートル拡張をできないか。

A 今の段階では非常に厳しい。



静岡県無形民俗文化財「猿舞」

税収増の

新たな取り組みを！



すずきの なおき
杉野直樹 議員

Q 当市の都市計画区域面積は、2011年調査で57平方キロメートル、この値は近隣では最低、藤枝市の半分、掛川市の4分の1である。このことから、これまでの島田市がいかに都市的土地利用に前向きではなかったかわかる。都市的土地利用を積極的に推進し、税収増につなげる考えはあるか。

A 無秩序な開発は、インフラ整備が広範囲になるため、都市計画上ではコンパクトなまちづくりを考えている。

Q 当市の税収で約46%を占める固定資産税は必ずしも市民が納税していない、納税者数、納税額の構成は市内、市外でどれぐらいか。

A 市内個人、法人は92%、市外個人、法人は8%、収入額の割合は市内個人、法人は74%、市外個人、法人が26%である。

Q 市外の方が保有している資産の方が資産価値が高いことから、

市内の土地も積極的な投資が受けられるようにすべきである。地方創生、独自のものを掲げていくのであれば外国人投資家の積極的な受け入れを推進してはどうか。

A 牧之原市ではメイド・イン・ジャパン・バイ・チャイナを推進している。当市も積極的にやっていきたいと思うが、それぞれ事情に応じた判断が必要である。

区分	収入額(千円)	構成比(%)
個人均等割税	180,951	1.3
所得割税	4,797,415	33.6
法人均等割税	236,272	1.7
法人税	461,777	3.2
固定資産税	6,599,474	46.2
軽自動車税	244,310	1.7
たばこ税	563,683	3.9
入湯税	77,388	0.5
都市計画税	1,129,548	7.9
合計	14,290,818	100

市の地方税収中、46.2%は固定資産税

子育て支援に 不公平感はないか



菅根嘉明 議員

Q 平成30年4月に幼稚園3園が認定こども園化するが、待機児童解消につながるか。

A 今年10月にも新保育園が開園を予定することから、定員が266人に拡大されて、待機児童解消につながる。

Q 市内の乳幼児は何人か。

A 4月1日現在の0歳児から5歳児は4472人で、保育園児の数は3090人である。

Q 第2子半額・第3子無償化事業の対象者約1100人、現在保育料の軽減を受けている人は260人となるが、対象から外れた子どもたちに不公平感はないか。

A 第1子の子どもは別だが、潜在的な待機児童もゼロとなり、公平公正は保てる。

Q 3歳児から5歳児が20人いるが、幼稚園では午後5時から7時まで預かり保育を行っているが、各幼稚園の連携はどうなっているか。



どろんこ遊びをする園児

A 預かり保育を可能か一覽にして送付し、幼稚園への入園を促したい。

東町御請線の安全対策を。

Q 信号機の設置について県の公安委員会へ上申をお願いしたい。

A 地元の皆様方とともに、今後信号機の設置については強く要望をしていく。

明確な市の方針を望む



村田千鶴子 議員

Q 島田球場に電光掲示板設置の議案を提出する考えはないか伺う。

A 横井運動場公園整備計画の中で判断をさせていただきたい。

Q 特種東海製紙横井工場は、夏ごろから解体工事に入る予定だ。民有地といえ好立地であり、市は将来の土地利用の確たる方針を持ち政策提案をしてはどうか。

A 初めの意向は貸し出す形。最新情報では、経営面からいろいろな選択肢を検討していると思うので、会社側の示す計画を待つ。

Q 交通弱者の移動手段の確保として、市内全域でタクシー助成を使った運行を実施する考えはないか。

A 市内75歳以上を対象にした場合に約4億円かかる。庁内でデマンド型タクシー等の福祉的な運行を検討しはじめています。

Q 蓬萊橋のコンクリートの橋脚を擬木化できないか。

A 左岸一部に木材を巻いているが、全ては国土交通省から認められ

ない。木目調に塗装する工法は莫大な維持費がかかる

Q 在宅介護・在宅医療を推進する上で、地域包括センターを小校区ごとに設置できないか。

A 専門職の人材確保等の課題あり。産科医の確保に向け医大等に、議会・島田市地域医療を支援する会と共に交渉してはどうか。

A 有効な手段であると考えます。

コミュニティバスの現状について

新しい運行システム?

- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス
- コミュニティバス

市内全域に適用できる制度はなく、地域ごと、運行主体ごとの事情を考慮していかなくてはならない。



※詳細やイメージが正確に伝わるアンケートを実施するが、同じアンケートを実施し、1人1人自治体別として、1自治体から複数自治体へ必要な各自治体のアンケートが送付されます。

生活安心課で出前講座を実施中!

特種東海製紙の

立ち位置は重要！



もり しんいち 議員

Q リニア中央新幹線工事について、

6月7日JR東海は地権者の特種東海製紙と保全環境などで合意したと発表した。市として特種東海製紙に合意内容について聞くつもりはあるか。

A 特種東海製紙とは良好な関係を保っており、直接内容に踏み込んで聞くことは難しい。

Q トンネル工事に伴い、水量だけでなく南アルプスの動植物への影響や山崩れなどの環境破壊が発生した場合、土地貸し主として、JRとどのような合意をしなければいけないか。

A 8月、工事に伴う現地視察に行く予定なので、このとき特種東海フオレストの代表とも会って、きちんと話をして聞いてみたいと思う。

Q 特種東海製紙横井工場の跡地利用について会社とはどのような話しを進めているか。

A 話し合いを持っているが具体的な計画はまだないと聞いている。



特種東海製紙横井工場入り口

Q まちづくりの観点で市民から、

どのような施設を希望するかなど提案を期間限定で受け付ける機会を作ってほしいが。

A 中心市街地活性化基本計画の計画区域内に工場跡地が入っている。計画策定の中で、地元の方々の意見を伺いたい。また地元の皆さまが企業に利用方法の要望などを提出する際には、市は橋渡しの役割を担う。

継続課題と

これからの財源確保は？



やまもとたかお 議員

Q 旧金谷中跡地の利用はどのように進める予定か。

A 事業プロポーザル選定委員会で検討し今年度内に事業者を選定したい。

Q 地権者である島田市の選定委員2人が主体性を持って決められるのか。

A 県と一緒に進める。

Q 田代の郷整備事業はどうか。

A 2年程度で仕上げたい。

Q 島田金谷IC周辺賑わい・交流拠点整備はどう進めるか。

A 平成31年オープンに向け今年度実施計画を策定し費用がわかる。

Q 旧金谷庁舎は結局どうするのか。

A 利活用策が決まったら建物の解体に着手する。

Q シンガポール卓球チームの事前合宿誘致の進捗状況は。

A 6月15日には東京体育館で行われたジャパンオープンで相手方総監督に面会、20日には同監督が島田市に来てローズアリーナを視察した。決定の可否は来年



空調改修が予定されているローズアリーナ

8月になる見込みである。

Q ローズアリーナは空調整備のほかに費用のかかるものはないか。

A 現時点ではない。

Q 島田市では今後費用のかかる事業が山積する中、これからの4年間で財源確保はどう取り組むのか。

A 一言で答えられる簡単な解決策はない。基金積み立てをしてきたのも投資のための準備だ。

島田金谷IC拠点施設の 事業主体は



やぎのぶお 議員
八木伸雄

Q 島田金谷IC周辺整備計画が示された。地域の期待が大きい。施設には、JA大井川（以下、JA）支店やマルシェ、大鐵駅舎を兼ねたレストランがある。整備を一体として行うというが、施設整備の事業主体と運営費の負担も一体と考えているか。

A 島田市・JA・大井川鐵道・NEXCO日本の4者の方向性は一致している。負担割合はこれから協議していくことになる。

Q JA五和支店部分はJAの負担になると思われる。市は駐車場や横断歩道橋などと思うが、駅舎兼レストラン・マルシェなどの整備・運営費負担を協議しなければ、実施の段階で頓挫する。市として攻めるべきところ、勇気をもって見直すべきところをしっかりと判断してほしい。

A 基本的にはJA五和支店・マルシェ・レストランはJAで、駅舎は大鐵、公共部分と全体のコーディネートをしていく。

大丈夫か道路崩壊対策

Q 林道大森線・市道雲見線が崩落した。崩落常習箇所だ。人身事故につながる前に対策をとるべきだ。現状では人命の危険があることを認識すべきだ。

A 大森線は工事を前倒して実施する。雲見線は維持修繕工事を実施しており通行可能だ。



対策が望まれる市道雲見線

移住・定住対策は 総合的施策が必要



しみずただし 議員
清水唯史

Q 子育て世代支援のための保育料第2子半額、第3子無償化の施策の実施期間は。

A 保育料見直しの9月から実施し、第2次総合計画前期基本計画の期間の平成33年度に効果を検証し、継続を判断する。

Q 判断の基準をどうするのか。

A 出生数、第2子、第3子の割合、子育て世代の転入・転出者数およびその理由などと合わせ合計特殊出生率について検証し施策の判断基準の参考とする。

Q 増加予想の待機児童対策は。

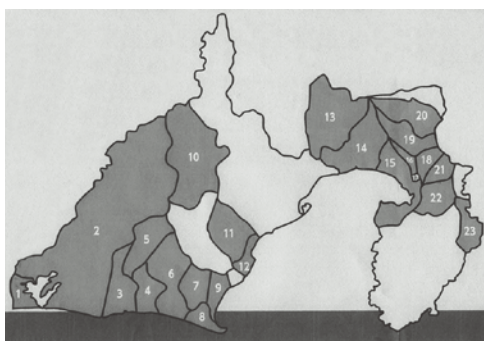
A 新規保育園の開設、認定こども園の増加で対応は可能である。

Q 現行の所得制限の撤廃の理由は。

A 高所得者の子育て世代家庭の移住・定住を期待するためである。

Q 定住策としての中古および新築住宅取得の補助内容は。

A 中古住宅購入奨励金交付事業と、新築住宅に対して木材需要促進対策奨励金、県外移住者に対する島田市に住もう応援奨励金、



自治体提携融資制度の無い島田市

結婚新生活支援補助金がある。
Q 平成26年度事業仕分けにより廃止された勤労者住宅利子補給制度は他市では定住施策として継続しているが再検討の考えは。

A 住宅施策以外において定住促進を限られた財源の中で選択する。

Q 総合戦略の今後の方針は。

A 移住・定住施策・子育て支援施策、産業活性化施策など複合的に連携しながら施策を進める。

ふるさと寄附金の 今後の取組みは！



いとう たかし
伊藤 孝 議員

Q 平成28年度の寄附金額とお礼の品数はどれくらいか。

A 平成27年度の実績は、寄附金額は約2530万円で、平成28年度約9395万円・お礼の品数は平成27年度75品目で、平成28年度228品目である。

Q 平成29年4月1日付で、総務大臣通知「ふるさと納税に係る返礼品の送付について」という文書が出されたが、今後のふるさと寄附金制度について島田市の考えはどうか。

A 総務省からは、資産性の高いものについて見直すよう通知を受けている。現在、島田市が取り扱っている返礼品の中では、カテゴリー的に該当するものもあるが、いずれの返礼品も島田市内において独自の製法によって開発された地場産品である。ふるさと寄附金制度の返礼品としての趣旨には反していないと認識している。



新ビジネス応援事業補助金を活用して開発

Q 島田市で最近人気がある中に、ゴルフ用品があるが今後どうに考えて取り組んでいくのか。

A 地方創生の名のもとにも市も協力して開発した地場産品であると、強く訴えた。現在、総務省がどのように動いてくるのか注視をしている段階だ。今後の方針が決定次第、そちらに沿った対応をしたいと考えている。

保育園の待機児童を なくせ！



さくらい ようこ
桜井洋子 議員

Q 4月1日現在の待機児童数は。

A 20人だが国の定義から外れる潜在的な待機児童は85人だ。0歳児から2歳児までが特に多い。

Q 保育園整備の見通しは。

A 10月に定員72人の保育園が向谷に開設。来年4月には認定こども園3カ所が開設予定だ。これにより待機児童は解消される。

Q 地域的にみれば六合・初倉に待機児童が多い。その対策は。

A 小規模保育所を要請していく。

Q 公立の第一・第三保育園の民営化はやめ、正規職員の増員を。

A かね保育園の民営化が終了し、当分の間考えていない。正規保育士の採用に努める。

平和都市宣言を生かそう

Q 「島田市平和都市宣言」を生かし、戦争の悲惨さや平和の尊さを語り継いでいく取り組みは。

A 今年度も平和祈念式典のほか、島田空襲慰霊のつどい、ひめゆり学徒動員に関するパネルや戦時資料の展示を計画している。

Q 小・中学生に向けた取り組みは。

A 子どもたちが制作した折り鶴や戦争と平和に関する本の読み聞かせ感想文を展示紹介する。『平和都市宣言』パネルを全小中学校に寄贈し、活用していただく。

Q 市長として、核兵器廃絶「ヒバクシャ国際署名」への賛同を。

A 被爆者が訴える署名活動は、大変意義がある。私も賛同する。



10月開設予定の(仮称)ゆりかご保育所

目指せ！投票率アップ！



よこやまかおり
横山香理 議員

Q 投票率向上のため、期日前投票所を初倉地区・六合地区でも開設できないか。

A ほかの地区に開設する場合、現状の投票所を含めて再編が必要。固定して開設するのではなく投票所を移動して行うことも一案。

Q 投票所ごと期日前投票を含んだ投票率を算出することは可能か。

A 算出することは決して不可能ではない。

Q 今後新たに立候補を考えている方を募つての勉強会などを開催する考えはないか。

A 政治に関心が高い方であれば選挙管理委員会の職員が出前講座等へ行く。

福祉サービスの充実を

Q 福祉車両の貸し出し状況で、前日に貸し出しができるような柔軟な対応はできないか。

A 常に予約でいっぱいという状況ではないので、前日に予約が



社会福祉協議会で貸し出している福祉車両

入っていないければ前日の貸し出しもこれから検討していきたい。

Q 現在一件当たりのケアプラン作成の時間が増えている。これをどう考えるか。

A 市内の主任ケアマネジャー連合会のような場でケアマネジャーの実態調査を一度やってみたい。実態を把握する中で、どういった対策が必要か支援策を生み出していきたい。

市長の選挙公約を問う



かわむらはるお
河村晴夫 議員

Q 車両を規制した安全な通学路を設けることはできないか。

A 保護者等からの要望があれば、車両規制に係る支援を行う。

Q 登下校の際、子ども見守り隊の組織化はしないのか。

A 市内で活動している皆さまの把握と、今後は連携の可能性について調査・研究をしていく。

Q 交通事故を減少させるため、センターラインのある道路について、追い越し禁止にできないか。

A 自治会などで把握している危険箇所が具体的にあったなら、担当課に要望書を提出していただき、対応については道路管理者と協議し、警察に伝えていく。

Q 若者が期待を持てるまちづくりについて新たな施策はないか。

A ふるさと島田の良さを再認識することなどを目的とした30歳の同窓会や、結婚への願いをサポートする結婚支援事業等、若者が地元に戻ってくるきっかけづくりに努めていく。

田代環境プラザの処理費用は

Q 田代環境プラザの一般業者の処理費用の算定根拠を伺う。

A 手数料の算出根拠については、田代環境プラザの運営開始から15年間の運営経費などを考慮した上で定めている。

Q 16年目以降の単価についてはどのように考えているのか。

A 16年目以降のことについては現在検討していない。



田代環境プラザ一般業者処理費用の行方は

コミュニティバスのルートは



さいとうかずと 議員

Q コミュニティバス（コミバス）の路線の見直しは。

A 運行時間や経路については市民の皆さまのご意見を参考にし、利便性の向上に努める。

Q 金谷駅と島田市民病院を結ぶ金谷島田病院線が、土日祝日に運行を取りやめてしまったようだが。

A 現在運休しているが、改善されるように市民全体の意見として事業者に強く働き掛けていく。

Q 循環型を含めた新たな路線については。

A 今後、さまざまなケースを想定して既存の路線を活用しながら、効率的で持続可能なコミバスの運行を目指していく。

放課後児童クラブは

Q 定員が満杯状態のところが多いと聞くが。

A 定員をオーバーしているところについては、今年度定員を増や



改善が望まれるコミバスの運行

す計画でいるが、同時に指導員の確保が深刻な問題である。また、今後は民間業者の参入も図っていききたい。

Q 指導員になるための条件は。

A 資格・選考規定は無いが、子どもが好きであれば基本的には誰でも働くことができる。放課後児童指導員には採用後、県が主催する研修会を受講してもらい、能力の向上を図っている。

人口減少と高齢化 子育て世代対応



おおむらやすじ 議員

Q 人口減少の状況はどうか。

A 国・県よりも10年ほど早く減少に転じ、平成27年には9万8千12人となり、減少傾向が続いている。

Q 転出・転入の増減はどうか。

A 平成28年度は転入が転出を上回り、転入超過人数が75人となった。

Q 人口の将来見通しや対応をどう考えているか。

A 「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2060年目標人口8万人を目指し、市の持つ特性・魅力を生かしたさまざまな施策を実施していく。

Q 子どもの貧困問題への取り組み状況はどうか。

A 今年度、実態を把握する必要があると考え、調査する。

Q 就学前教育への取り組み状況はどうか。

A 乳幼児、児童およびその保護者同士の遊びと交流などを目的に、市内の子育て支援団体が市内の



人も歩まず、荒れた林道

公民館等を会場に、つどいの広場事業として実施している。

山林の荒廃を心配する

Q 所有者や境界不明の土地の関係で問題は生じてないか。

A 木材価格の低迷や、林業従事者の高齢化、後継者不足などから林業が衰退し、所有者や境界が不明確な森林が増加している。

就学援助のランドセル代 入学前に！



おおせきよよ 大関衣世 議員

Q 本年3月31日付で文科省は要保

護児童生徒援助費補助金要綱を、
新入学学用品単価を倍額にし、
就学予定者も対象者に加える改
定をした。要綱は、あくまでも
要保護児童生徒が対象だが、人
数の多い準要保護児童生徒への
援助も大切と考える。島田市の
現状はどうか。

A 準要保護児童生徒への援助は、

市の単独予算で実施している。
現在は6月初旬に支給されてい
る。

Q ランドセル等の入学準備品は入

学前に購入するため、支給は入
学前が望ましいと考える。

A 就学前に支給することを前向き

に検討する。

Q 国は入学用学用品費単価を倍に

増額したが、市は増額を考えて
いるか。

A 国に合わせ、倍額にしていく。

18歳以上の障がい者支援

Q 18歳以上の障がい者支援はどうか。

A 通所施設は8カ所。重度障がい
者が通所している施設はその内
5カ所。市外の施設に通所して
いる方は6人である。

Q 今後の支援計画はどうか。

A 支援学校卒業後の通所施設が、
今後不足すると予測している。
受入体制の充実のため、調査研
究し、保護者・支援者の方と共に
施設整備の実現に向け、努力し
ていきたい。



ピカピカのランドセルは一年生のシンボル

【議案第49号】財産の取得について（消防ポンプ自動車）

反対

消防ポンプ自動車を市外の業者に発注することに反対する。ポンプと車体の一括発注では、市内のモーターは適正な見積もりをポンプ会社やディーラーからもらえないことは既に判っているのではないかと。以前は分離して発注していたが、価格・メンテナンスの上でも問題はなかった。危機管理部だけの事業と考えるのではなく、市の発注事業が、経済発展や雇用、定住促進など多方面に影響があることを考慮すべきだ。郷土愛に燃え、崇高な思いで任務にあたる団員や市民のことを思うと到底賛成できない。

反対？

賛成？

+ ザツ 討論 ○

市議会定例会最終日に行われる議案採決の前に、
賛成・反対の意見を表明する「討論」を行います。

6月定例会では、1議案について反対意見の表明
がありました。

【採決結果一覧】 賛成・反対の分かれた1議案の結果を掲載しています

氏名	大村	河村	齊藤	横山	伊藤	森	山本	藤本	八木	清水	村田	曾根	平松	大関	横田	杉野	桜井	佐野	大石	
	泰史	晴夫	和人	香理	孝	伸一	孝夫	善男	伸雄	唯史	千鶴子	嘉明	吉祝	衣世	川真人	直樹	洋子	義晴	節雄	
会派名	きょうどう島田							創造島田			さきがけ島田			無会派						
○ = 賛成 × = 反対	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【議案第49号】 財産の取得について (消防ポンプ自動車)	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長（福田正男）は採決には加わりません。（並び順は会派ごとの議席順）

※「無会派」とは、会派に属さない議員のことです。

フレッシュな感覚で『再発見!』 新人議員研修会

去る5月29日から6月2日まで新人議員5人の研修があり、議会基本条例や会議規則など議会の概要や運営について、議会事務局から説明を受けました。併せて島田市内の施設を視察し、それぞれの感想を取りまとめました。市民の代表としてフレッシュな感覚で活動していきますので温かく見守ってください。



川根温泉ホテルとメタンガス発電

報告者：大関衣世

川根温泉から湧出しているメタンガスを利用して発電設備を作り、ホテルの電力の6割を賄い、発電で発生する熱を「川根温泉ふれあいの泉」のボイラに供給し燃料代を大幅に削減してます。これは、CO₂の削減にもつながります。この設備は全国でも希少で、先進事例として、誘客効果も期待できると感じました。S Lを眺めながらの入浴、爽やかな川辺の温泉施設として人気のスポットになると思いました。

田代環境プラザ

報告者：河村晴夫

何回か粗大ごみを処理に来たことはありましたが施設の中の見学は初めてです。稼働して10年が経っていることにビックリ。近隣市の人達からは、『島田はゴミの分別が無くていいね』とよく聞きますが、「直接溶解炉」の凄さが光ります。そして、環境対策は万全、溶融物は再資源化し、埋め立て処分量を極小化。最後に焼却余熱を有効利用する設備と聞いて感心するばかりです。後20年稼働させるとのことです大事に稼働させ長持ちできればと感じました。

川根図書館

報告者：齊藤和人

川根図書館は、川根小学校と併設しています。それを利用して学校の図書室としても使われています。住民は玄関から、児童は学校側から入れるようになっています。実にうまく工夫されています。住民と児童の交流ができ、地域全体がお互いに顔見知りの関係を築きやすくできています。図書館側からは住民が自由に学校側へは入れないようになっています。子どもたちの安全は確保されています。室内も明るく落ちついた環境です。川根地区にとって重要な施設だと感じました。

島田消防署

報告者：大村泰史

島田消防署は平成28年4月から静岡地域広域消防の運用開始となり広域化の利点を生かし総合情報システムの整備による体制強化が図られたとの説明を受けました。新たに配置された屈折はしご車に搭乗し性能を体感しました。実際に火災等での出動がないことを願うばかりです。

ロクティ・くらら・みんくる

報告者：横山香理

今回の新人研修において三カ所の公民館を視察しました。それぞれ良い特徴が見られます。ロクティは小学校と併設しているため、より地域と子どもたちとのコミュニティが深まります。初倉くららは子どもたちが遊べる広場、デイサービス生き生きサロンが入り楽しく活動されています。金谷みんくるは日差しが燦々と差し込み開放的でした。各公民館が地域の活動拠点場所として、島田市を盛り上げる場に皆さんでしていきましょう。

報告します！

平成28年度 政務活動費使用報告

政務活動費は、地方自治法に基づき地方議員に支給される経費のことで、各地方議会により金額や交付要件が定められています。

島田市議会では、議員1人に年額20万円を上限として交付しています。残額は返還、超過額は自己負担としています。

A 調査研究費

市の事業や財政などに関する調査研究などに要する経費

B 研修費

他団体が開催する研修会への参加に要する経費

C 広報費

議員の活動や市政について市民へ報告などをするために要する経費

D 広聴費

市民からの市政や議員の活動に対する意見・要望の徴収に要する経費

E 資料作成費

政務活動のために必要な資料の作成に要する経費

F 資料購入費

政務活動のために必要な図書や資料を購入する経費

(単位：円)

議員名	交付額	支出内訳							支出合計	自己負担額	返還額
		A 調査研究費	B 研修費	C 広報費	D 広聴費	E 資料作成費	F 資料購入費	その他の経費			
青山 真虎	200,000			31,320			1,728	33,453	66,501	0	133,499
伊藤 孝	200,000	174,028					15,924		189,952	0	10,048
大石 節雄	200,000	164,818							164,818	0	35,182
紅林 貢	200,000	93,908					98,095		192,003	0	7,997
桜井 洋子	200,000	77,968	72,920				11,050		161,938	0	38,062
佐野 義晴	200,000	160,818	9,320				24,447		194,585	0	5,415
清水 唯史	200,000	83,358	149,700				12,960		246,018	46,018	0
杉野 直樹	200,000	164,818							164,818	0	35,182
曾根 嘉明	200,000	180,518	15,000						195,518	0	4,482
仲田 裕子	200,000	155,860	15,940				2,570	17,569	191,939	0	8,061
平松 吉祝	200,000	192,518	15,000				10,000		217,518	17,518	0
福田 正男	200,000	77,968	134,280						212,248	12,248	0
藤本 善男	200,000	43,520	167,140				12,312		222,972	22,972	0
村田千鶴子	200,000	192,518	15,000				10,610	8,444	226,572	26,572	0
森 伸一	200,000	77,968	293,420						371,388	171,388	0
八木 伸雄	200,000	121,488		41,580			2,570	35,850	201,488	1,488	0
山本 孝夫	200,000	77,968	172,300						250,268	50,268	0
横田川真人	200,000	160,818							160,818	0	39,182
合計	3,600,000	2,200,860	1,060,020	72,900	0	0	202,266	95,316	3,631,362	348,472	317,110

※政務活動費収支報告書は、ホームページ・情報公開コーナー（市役所、金谷南支所、金谷北支所、川根支所）で閲覧することができます。

議会活動レポート

5/31
(水)

～議員・議会の権限とは？～

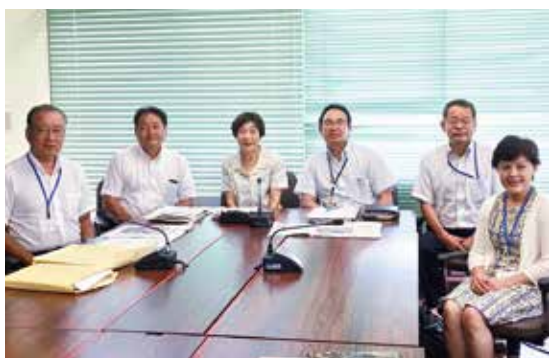
全議員研修会 講師：廣瀬 和彦（地方議会総合研究所所長）

新人議員5人を含め、全議員参加の研修会が行われました。講師は廣瀬和彦氏です。氏の豊富な資料と全国の地方議会の問題になった事例も取り上げながらの話に、改めて議員・議会の果たす役割についての研修ができました。島田市議会はこれまで議会改革に取り組んできましたが、議長選挙の方法、議決事項について、行政執行に対する議会の監視権などについても学ぶことができました。いよいよ議員活動のスタートです。



編集後記

平成29年6月定例会は、改選後初めての議会です。一般質問では、選挙公約の実現を目指し、18人がそれぞれのテーマで市政を質しました。このたび、「議会だより編集に関する特別委員会」は、新人議員3人を含む新たな体制でスタートしました。議会の様子を「読みやすく、わかりやすく、親しみやすく」お伝えし、議会を身近なものにしていただけるよう、編集・発行にがんばります。引き続きのご愛読をよろしくお願いたします。



議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 桜井 洋子
- 【副委員長】 伊藤 孝
- 【委員】 大関 衣世 河村 晴夫
- 齊藤 和人 大石 節雄

9月市議会定例会傍聴のお知らせ

議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！
傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場（市役所3階）へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
8/27	28	29	30	31	9/1	2
					本会議 (初日)	
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (議案質疑)	常任委員会 (厚生教育)	
17	18	19	20	21	22	23
		常任委員会 (経済建設)	常任委員会 (総務生活)			
24	25	26	27	28	29	30
					本会議 (最終日)	

☆開会時間は…
本会議 9:30 常任委員会 9:30

あなたのパソコン・スマホ等で、オンラインでも傍聴できます。
水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。